

19

経済技術協力国別資料(援助地区)

コスタ・リカ

REPUBLICA DE COSTA RICA

1989年12月

国際協力事業団
企画部地域第二課

1989

1989



JICA LIBRARY



1080953111

20885

作成にあたって

この経済技術協力国別資料(援助地図)は、わが国を始め、主要援助供与国及び国際機関が、技術協力、経済協力として実施しているプロジェクトを調査しまとめたものです。

この調査においては、各援助供与国及び各援助機関が、どのような方針に基づいて援助を実施してきたかを明らかにしようと試みました。また、被援助国側が各援助供与国や国際機関別にどのような援助のあり方を期待しているかを探り、ひいてはわが国の国際協力の方向性を考えるという目的の下にこの資料を作成しました。

今回、昭和59年度から昭和61年度にかけて作成された対象国の改定版を作成しました。作成にあたっては、外務省、海外経済協力基金、JICA派遣専門家等多数の方々の御協力を得ました。ここに、本資料作成に御協力下さった皆様に改めてお礼を申し上げますと共に、今後、関係各位の御指導を得て、更に内容を充実したものとしていきたいと考えております。

平成元年12月

国際協力事業団

企画部長

河 合 正 男

● 国際機関名略称

AfDB	– African Development Bank	アフリカ開発銀行
AfDF	– African Development Fund	アフリカ開発基金
AsDB	– Asian Development Bank	アジア開発銀行
CarDB	– Caribbean Development Bank	カリブ開発銀行
EEC	– European Economic Communities	欧州経済共同体
FAO	– Food and Agriculture Organization	国際連合食糧農業機関
IBRD	– International Bank for Reconstruction and Development	国際復興開発銀行(通称;世界銀行)
IDA	– International Development Association	国際開発協会(通称;第二世界銀行)
IDB	– Inter-American Development Bank	米州開発銀行
IEA	– International Energy Agency	国際エネルギー機関
IFAD	– International Fund for Agricultural Development	国際農業開発基金
IFC	– International Finance Corporation	国際金融公社(世界銀行グループ)
ILO	– International Labour Organization	国際労働機関
IMF	– International Monetary Fund	国際通貨基金
ITU	– International Telecommunication Union	国際電気通信連合
OECD	– Organization for Economic Cooperation and Development	経済協力開発機構
OPEC	– Organization of Petroleum Exporting Countries	石油輸出国機構
UNCTAD	– United Nations Conference on Trade and Development	国連貿易開発会議
UNDP	– United Nations Development Programme	国連開発計画
UNESCO	– United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization	国連教育科学文化機関
UNFPA	– United Nations Fund for Population Activities	国連人口活動基金
UNHCR	– United Nations High Commissioner for Refugees	国連難民高等弁務官事務所
UNICEF	– United Nations Children's Fund	国際連合児童基金
UNIDO	– United Nations Industrial Development Organization	国連工業開発機関
UNRWA	– United Nations Relief and Works Agency	国連パレスチナ難民救済事業機関
WFP	– World Food Programme	国連・FAO世界食糧計画
WHO	– World Health Organization	世界保健機構
WMO	– World Meteorological Organization	世界気象機関

本資料は、1987年3月に発行された資料を、その後の新しい情報、資料によって内容を改定したものです。

コスタ・リカに対する 経済技術協力の概要

目次

1	経済・社会開発計画概要	
1-1	コスタ・リカの概要	1
1-2	開発計画の概要	5
1-3	国家予算	6
2	経済・技術協力の推移	
2-1	援助活動の推移	7
2-2	最近の援助動向	7
3	主要援助国・国際機関による援助の特徴と実績	
3-1	主要援助国・国際機関別援助の特徴	15
3-2	主要援助国・国際機関別援助の実績	17
4	わが国の経済・技術協力実施状況	
4-1	わが国援助の特色	21
4-2	分野別経済・技術協力実施状況	24

1 経済・社会開発計画概要

1-1 コスタ・リカの概要

1) 面積	50,900km ² (日本の約0.13倍)
2) 人口 (1987年央)	総人口2,700千人
3) 政体 元首	立憲共和制 大統領: オスカル・アリアス・サンチェス (Oscar Arias Sanchez)
4) 人種構成	白人及び混血(95%) 黒人(3%) 先住民族(2%)
5) 言語	公用語: スペイン語
6) 宗教	キリスト教(カソリック)
7) 教育	成人識字率 : 96% 義務教育は9年間で無料 就学率(標準就学年齢人口に対する総就学者の比率) 初等教育 : 102% (1986) 中等教育 : 42% (1986) 高等教育 : 24% (1986)
8) 通貨 (1989年9月現在)	コロン 1米ドル=20コロン(公定) 1米ドル=82.45コロン(実勢)
9) 貿易 (1987年)	貿易額(輸出入総額) : 2,532百万米ドル 輸出額(FOB) : 1,155百万米ドル 主要相手国 : 米国、西ドイツ、グアテマラ、ニカラグア 輸入額(CIF) : 1,377百万米ドル 主要相手国 : 米国、メキシコ、日本、グアテマラ
10) 外貨準備高 (1987年)	519百万米ドル
11) 対外公的債務残高 (1987年)	4,727百万米ドル
12) 債務返済比率 (1987年)	対GNP比 : 4.5% 対輸出比 : 12.1%
13) G N P (1987年)	4,090百万米ドル 一人当たり1,550米ドル
14) 年平均インフレ率	28.6% (1980-87)
15) 会計年度	1月1日~12月31日

<p>16) 援助要請のための国内手続き</p>	<pre> graph TD A[各省庁] -- 承認 --> B[経済企画省] B --> C[外務省] B --> D[大蔵省 外国資金調達部] E[中央銀行] -- 審査 --> D F[国会] -- 実施前の批准 --> D C -.-> G[各国政府・国際機関] D --> G </pre> <p>技術協力に関する計画作成、調整、評価</p>
<p>17) 略史</p>	<p>1502 コロンブスの第4次航海後、スペイン人による植民開始</p> <p>1821.9 グアテマラとともにスペインから独立</p> <p>1822 メキシコに併合される</p> <p>1823 中米諸州連合の一員となる</p> <p>1838.11 中米諸州連合から離脱</p> <p>1848.8 共和国として独立</p> <p>1949.11 現行憲法公布</p> <p>1954 フィゲーレス大統領就任</p> <p>1978 カラソ大統領就任</p> <p>1982 モンヘ大統領就任</p> <p>1985.5 ラス・クルシータス事件</p> <p>1986 アリアス大統領就任</p> <p>1987.2 中米4ヶ国大統領会議にてアリアス・プランを提示</p> <p>1987.8 中米5ヶ国大統領会議にて「中米における確固たる恒久平和確立のための手順」合意</p> <p>1987.10 アリアス大統領、ノーベル平和賞受賞</p>

[注] 中南米地域に含まれる地域：アルゼンティン、バハマ、バルバドス、ボリヴィア、ブラジル、チリ、コロンビア、コスタ・リカ、キューバ、ドミニカ、ドミニカ共和国、エクアドル、エル・サルバドル、グレナダ、グアテマラ、ガイアナ、ハイティ、ホンデュラス、ジャマイカ、メキシコ、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ペルー、スリナム、セントルシア、セントビンセント・グレナディーン、トリニダッド・トバゴ、ウルグアイ、ヴェネズエラ

(出典：世銀、OECD、外務省およびJICA現地駐在員資料)

図1 概要図

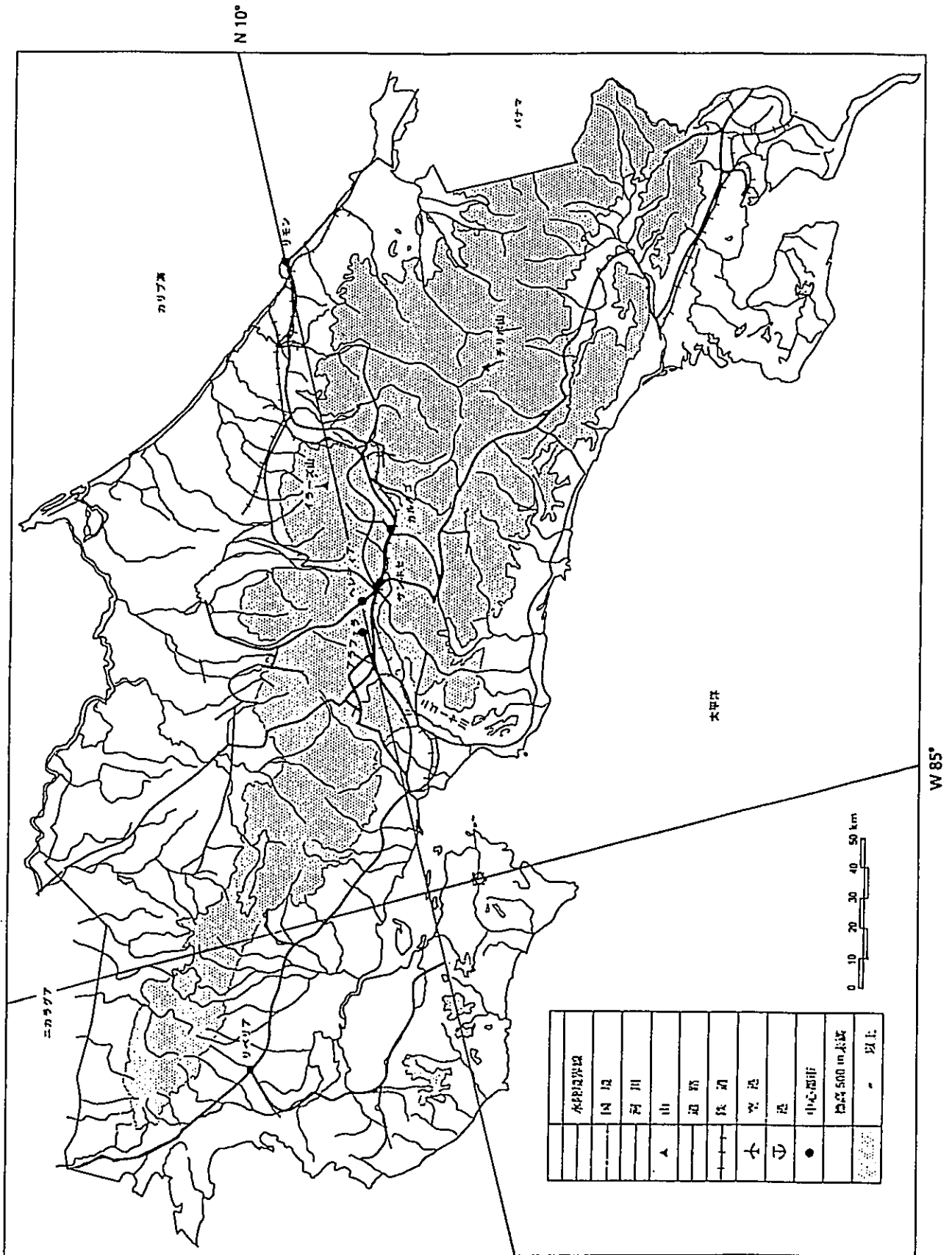


図2 位置図



拡大図



図3 行政区分図

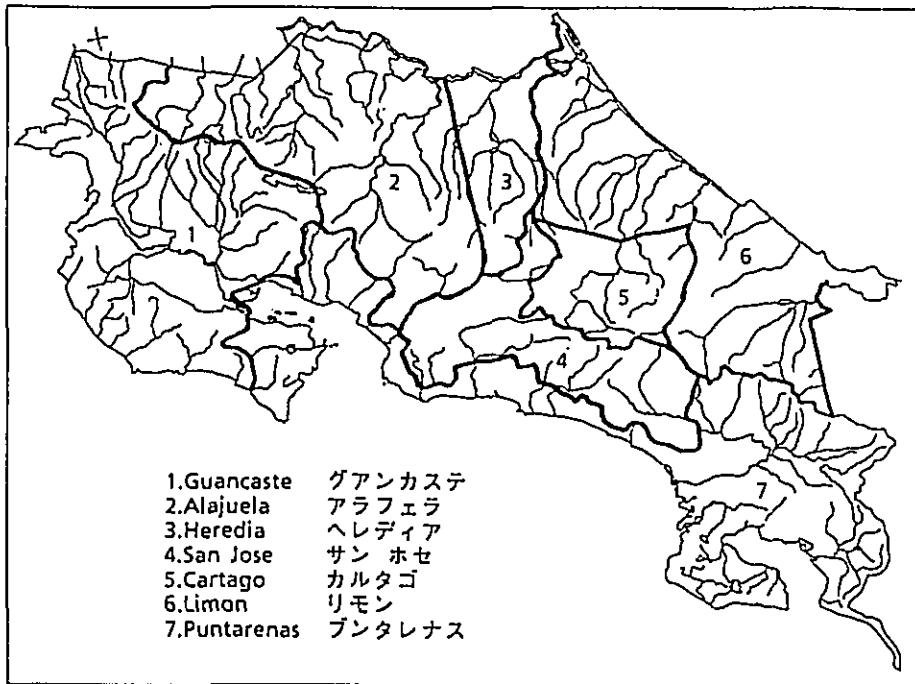
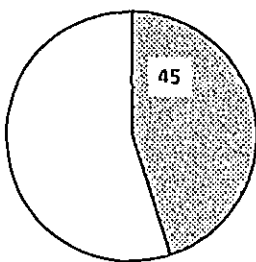
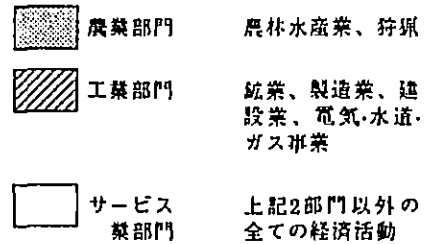
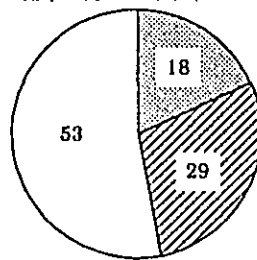


図4 都市化率 (%)



注) 総人口に占める都市人口の比を示す。ただし都市人口の定義は国によって異なる。

図5 生産の構造(%)
—部門別GDP比率—



(出典: World Development Report 1989, World Bank)

1-2 開発計画の概要

1-2-1 既往の開発計画

◦ 国家開発計画	1965~1968年	ト レ ホ ス 政権
◦ 経済社会開発・公共部門活動のための計画	1969~1972年	フ イ ゲ ー レ ス 政権
◦ 国家開発計画	1974~1978年	オ ド ウ ベ ル 政権
◦ 国家開発計画	1979~1982年	カ ラ ソ 政権
◦ 国家開発計画	1982~1986年	モ ン ヘ 政権
◦ 国家開発計画	1986~1990年	ア リ ア ス 政権

1-2-2 現行開発計画 (国家開発計画: 1986~1990年)

【 中心的目的 】

- 経済成長 国内資源の集中的利用、生産的構造の変革
- 社会的公平 開発の経済・社会的利益の分配、生産的資源の取得の公平
- 社会的流動性 コスタ・リカ人が能力を最大に発揮できる役割実行の機会
- 極貧の解消 基礎的必需品への対応、前進的成果の固定化

【 目標 】

表1 コスタ・リカ: 国家開発計画の目標 1986~1990

分野、項目	目 標	
生産		
国内総生産	年間成長率	4.0%
投資と貯蓄		
固定総投資	年間成長率	6.2%
公共投資	年間成長率	4.0%
民間投資	年間成長率	6.8%
国民純貯蓄/国内総生産		20.0%
国民純貯蓄/純投資		85.0%
科学・技術投資/国内総生産		1.0%
輸出		
商品・サービスの輸出	年間成長率	5.0%
非伝統商品の輸出	年間成長率	6.8%
輸入		
輸入全体量	年間成長率	4.3%
公共対外債務		
平均成長率	年間成長率	3.0%
雇用		
年間新規雇用数		25,000
住宅		
1986~1990の問題解消数		80,000

(出典: PLAN NACIONAL DE DESARROLLO 1986-1990)

【 戦略的分野 】

1. 公共・民間における国民貯蓄の増強
2. 新しい科学・技術の導入、採用、開発
3. 労働生産性の改善
4. 農産加工業等による経済の垂直化(国産源材料の奨励)
5. 天然資源、エネルギーと鉱物に関する制度的強化、規制と査察、教育と能力開発
6. 住宅の建設・改善、定住集落の建設
7. 辺境地域の労働機会創出、若年失業者、女子世帯主等の就職
8. 経済的民主主義
9. 地理的民主主義、公的機関の反集中、地方分散
10. 生産活動への女性の参加
11. 公共部門の合理化

1-3 国家予算

表2 機能別歳出

単位:百万コロン

	1987 実績	1988 修正	1989 予算法
総 額	54,888	63,623	63,439
一般サービス	8,161	9,916	11,931
社会サービス	23,155	29,826	26,965
教育	11,658	12,967	13,752
健康	1,312	1,334	1,534
環境	342	360	397
社会救済	6,300	5,935	7,576
労働	129	146	182
住宅	1,330	1,743	1,012
上下水道	609	1,476	471
社会開発	204	4,514	360
芸術・文化	330	399	446
娯楽	224	325	391
その他	717	627	843
経済サービス	12,011	9,810	7,412
農業	6,146	2,840	1,142
牧畜	78	96	113
天然資源	229	343	398
灌漑、排水	95	235	133
エネルギー	25	32	83
産業、商業	236	294	259
運輸	4,806	5,429	4,724
通信	365	472	464
観光	1	1	51
その他	30	68	45
金融サービス	9,207	12,350	13,107

(出典: LEY DE PRESUPUESTO)

2 経済・技術協力の推移

2-1 援助活動の推移

ODA全体 従来農業を中心とする経済構造であったが、近年は製造業の伸びが著しく、製造業のGDPに占める割合は22%となり、農業の18%を上回っている(1986年)。ただし農業部門は労働人口の約30%、総輸出額の2/3を占めている。主な輸出品はコーヒー、バナナ、食肉などである。

1960年代、70年代には、中米共同市場の存在等にも助けられて、コスタ・リカは毎年6%近い経済成長を遂げた。しかし、80年代初めに交易条件の悪化と対外支払利子の上昇の影響を受け、81年、82年と経済成長はマイナスを記録し、82年の消費者物価上昇率は90%に達した。この経済苦境から脱するためコスタ・リカ政府は海外から資金を借入れ財政支出の拡大を図ったが、対外債務を大幅に増大させる結果となった。1983年世銀輸出促進ローン、85年SAL I、88年SAL IIと、世銀・IMFの協力を得て構造調整努力が続けられており、1983年以降経済成長を維持してきている。1988年末の対外債務残高はGDPに匹敵する48億ドルに達しており、債務問題の解決が課題とされている。

ODAは1983年に急増し、その後2億ドルから2億5千万ドルのレベルで推移している。

援助主体別 1983年に急増したのは二国間援助であり、その後も継続して二国間援助がODAの中心的役割を占めている。

DAC諸国は1987年に支出純額で2億808万ドルのODAを供与しており、主要な援助国は米国(シェア77%)、カナダ(7.5%)、西ドイツ(5.3%)である。

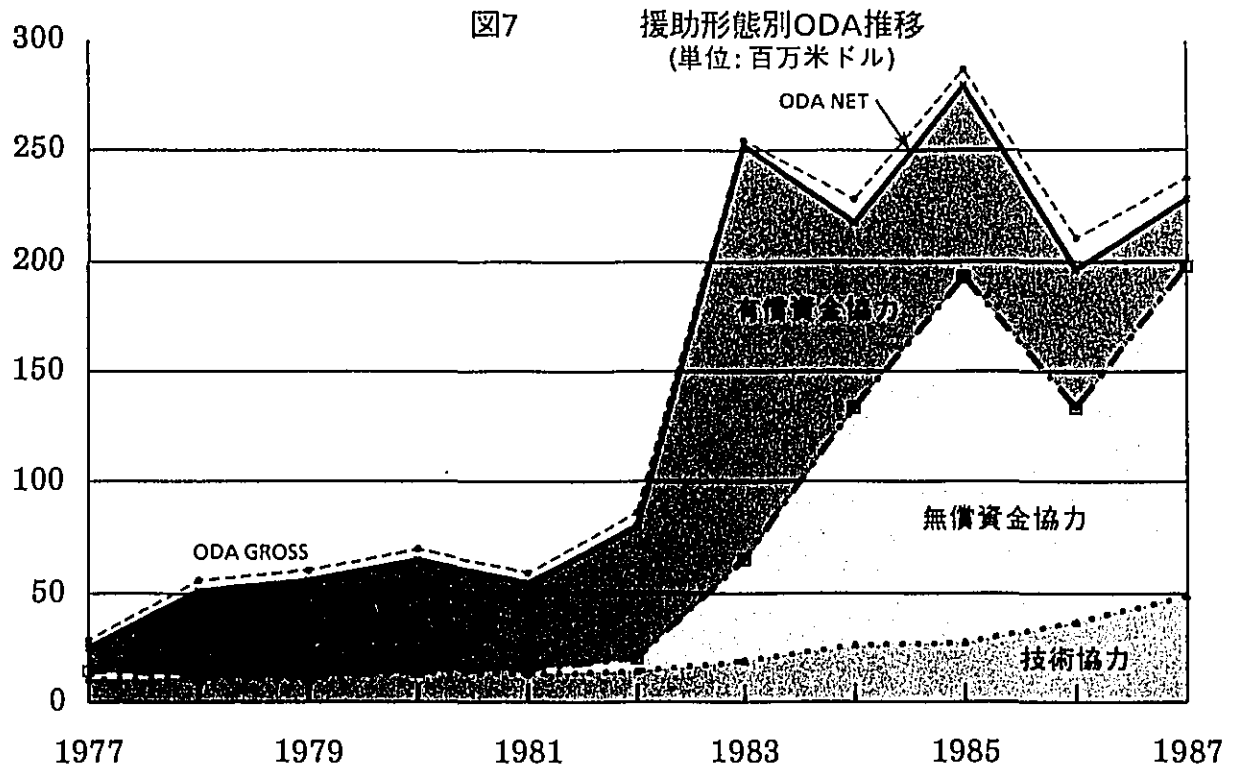
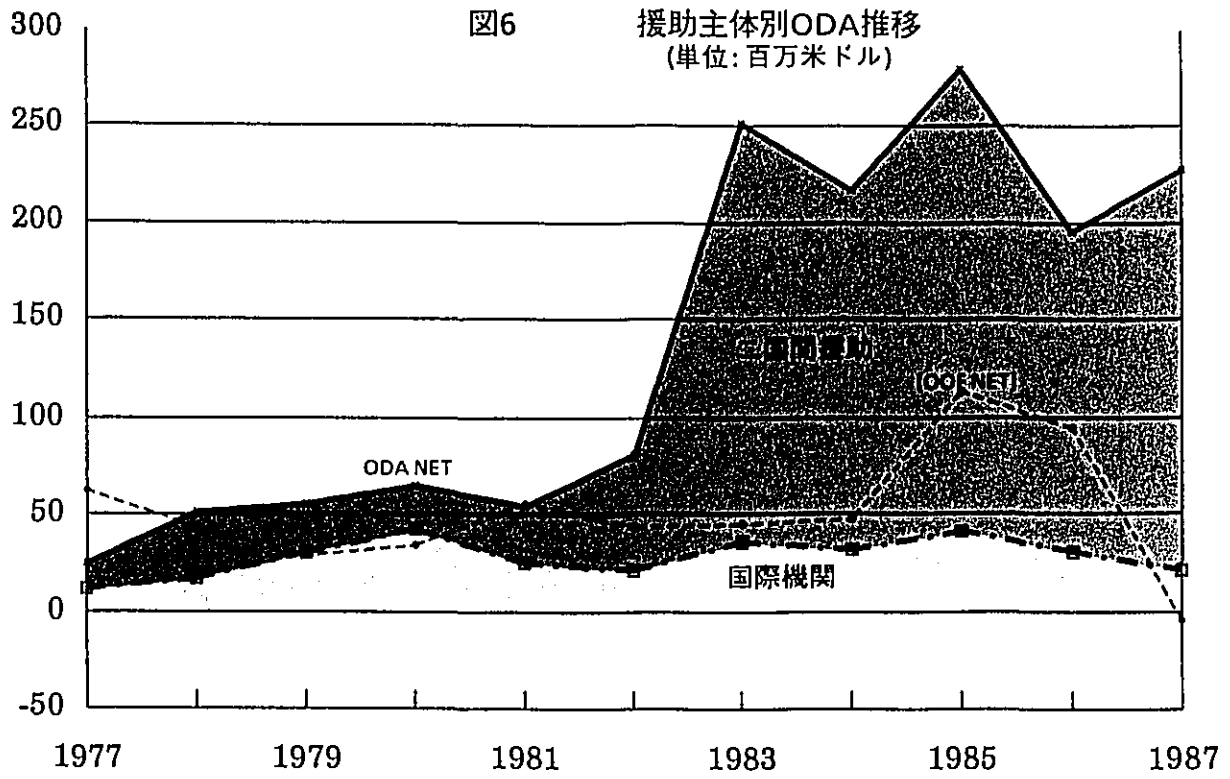
国際機関からは1987年支出純額で2,026万ドルであり、主要な援助機関は、UNHCR、E.E.C.、IDBである。

援助形態別 ODAの規模が飛躍的に増大した1983年には、増加の主役は有償資金協力であったが、翌84年からは有償資金協力は落ち込み、代わりに無償資金協力が増加を続けて有償資金協力にとって代わる動きを見せている。

他の多くの途上国と同様に、技術協力は地味ながら継続して増加している。

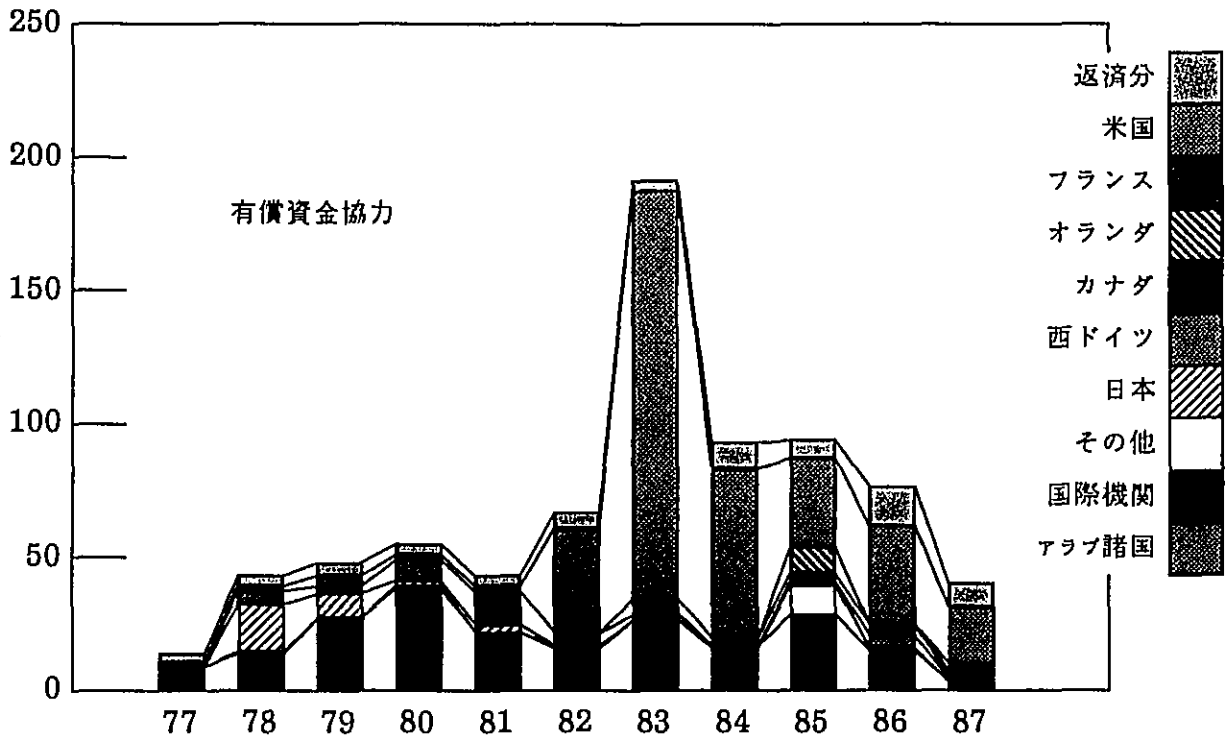
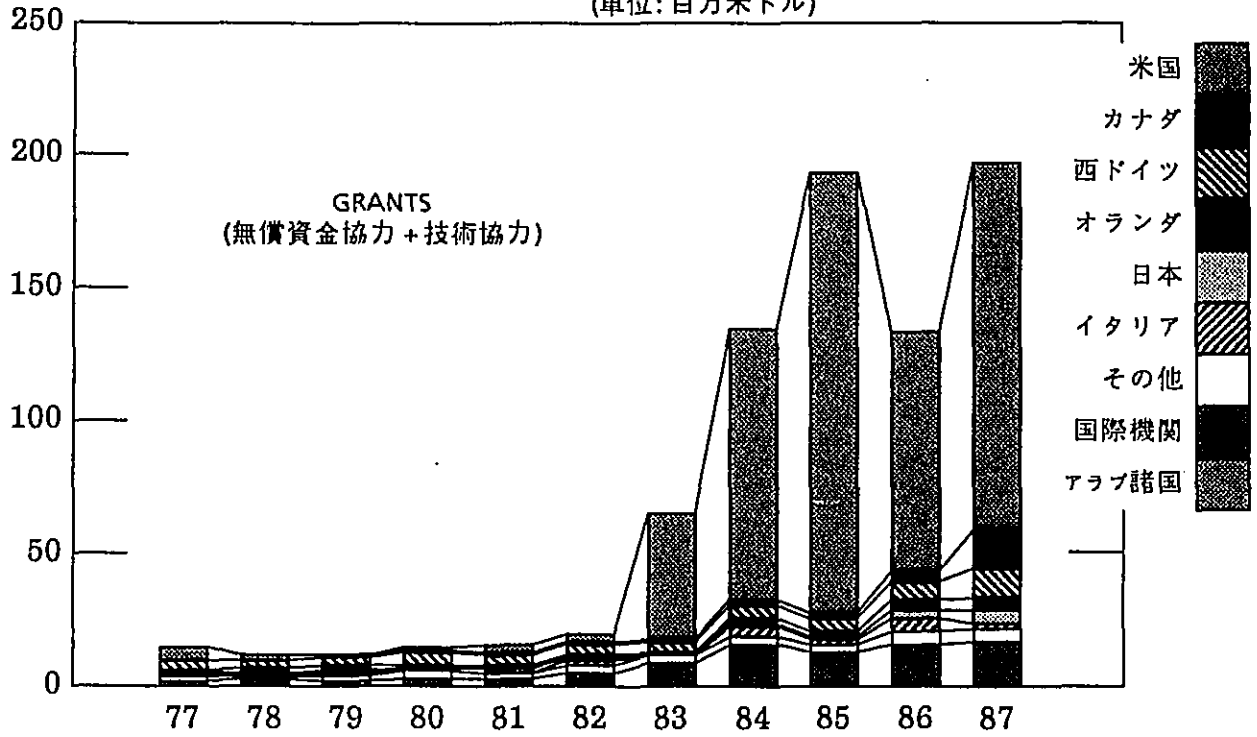
2-2 最近の援助動向

援助形態別に見ると技術協力と無償資金協力の比率が増大し、有償資金協力は金額でも比率でも減少する傾向を示している。特に無償資金協力は1987年に全体の65%に達しており、そのほとんどが米国からの援助によるものである。



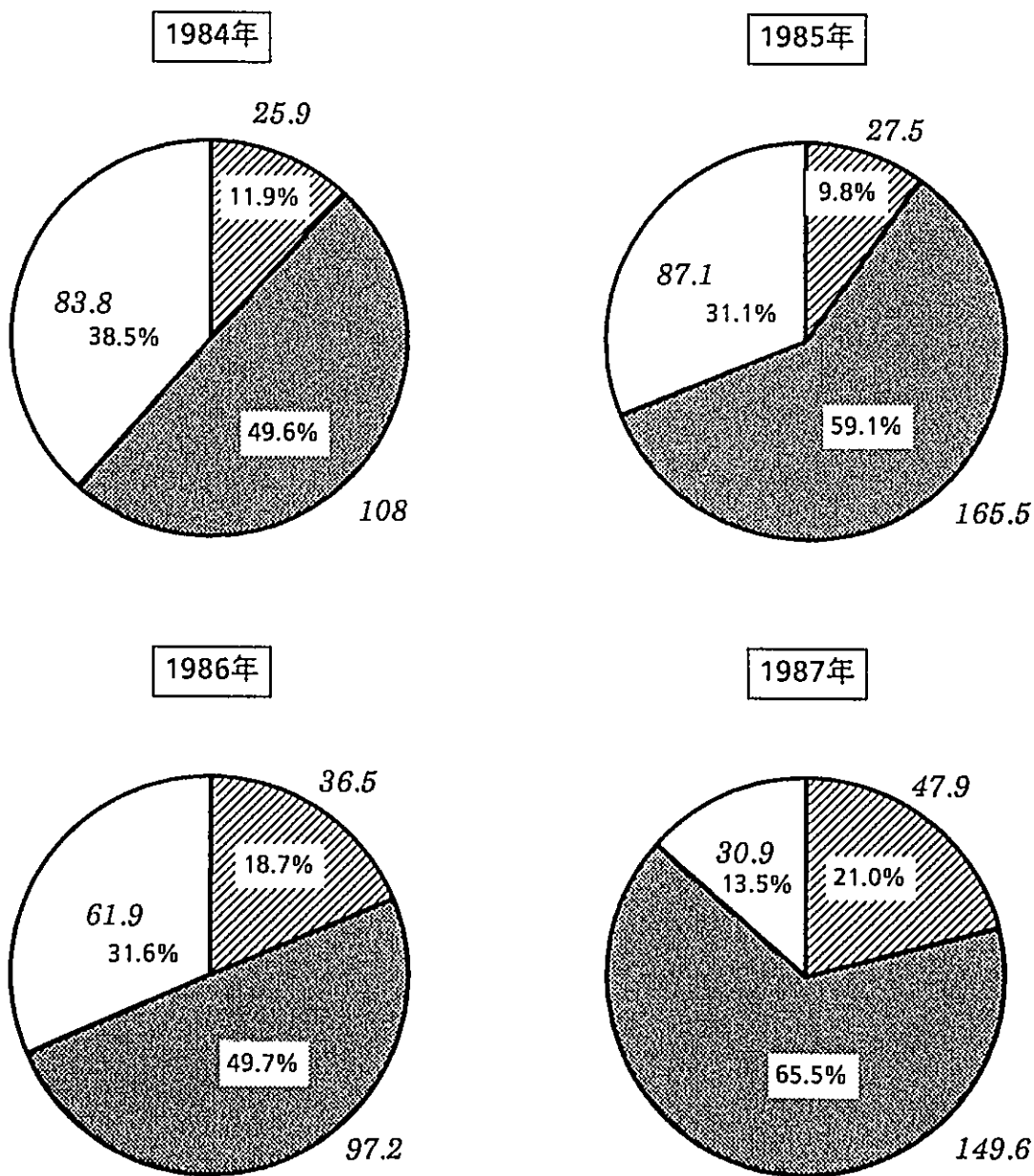
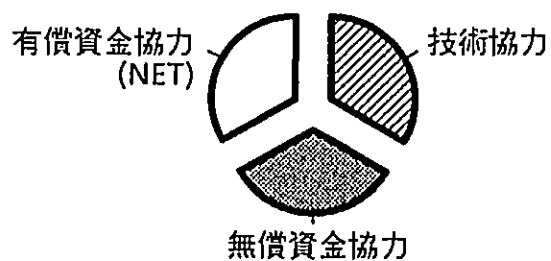
(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1978~1989)

図8 援助形態別、主要援助国および国際機関の援助額推移
(単位: 百万米ドル)



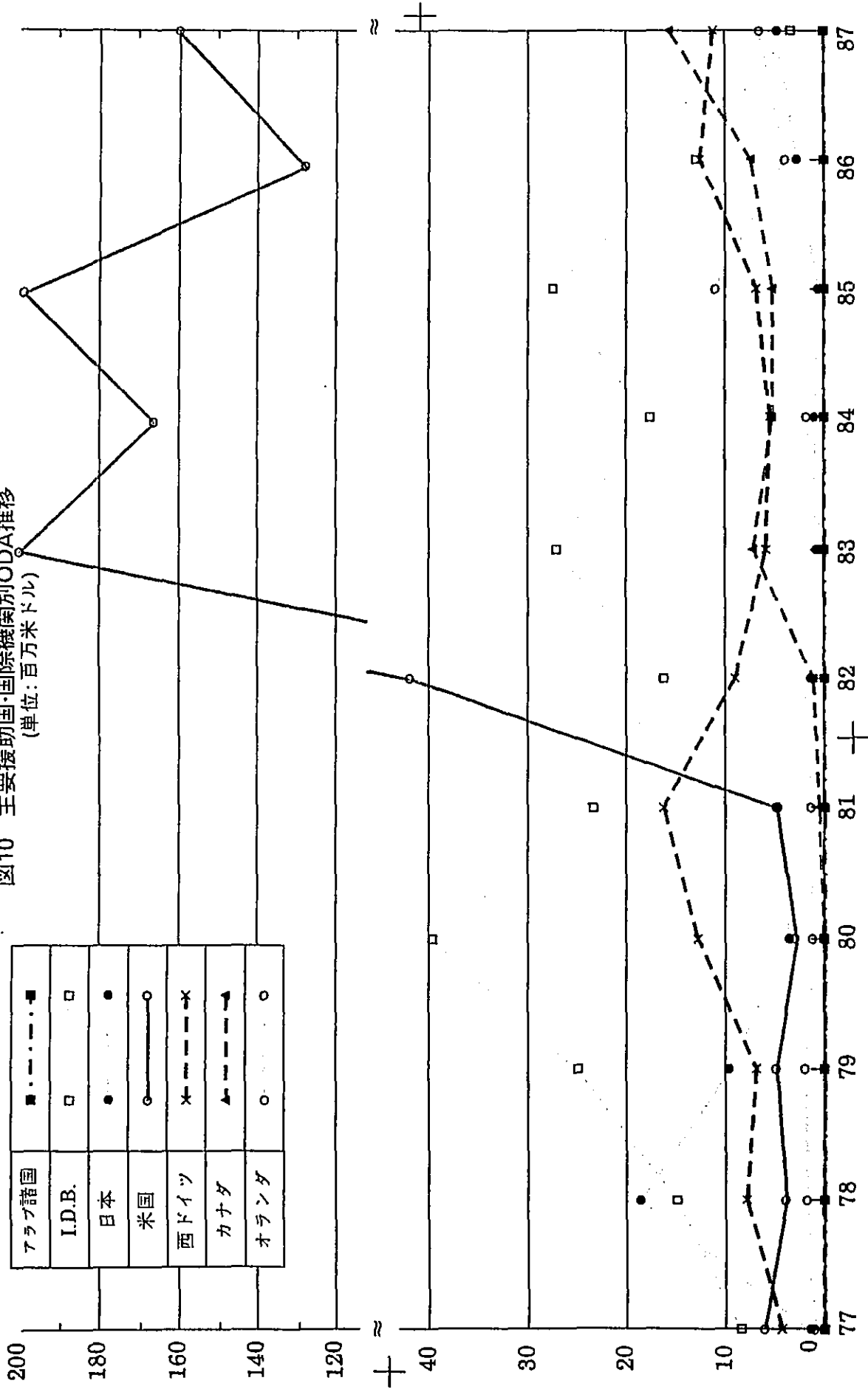
(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1978~1989)

図9 援助形態別ODAのシェア
(単位:百万米ドル)



(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD1989)

図10 主要援助国・国際機関別ODA推移
(単位: 百万米ドル)



(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1977~1989)

図11 年表

1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987
毛利特派大使訪コ		モンヘ国民解放大統領候補訪日	カラソ元大統領訪日 塩谷特派大使訪コ		カラソ元大統領訪日	カラソ元大統領訪日 グティエレス外務大臣訪日		石原謙太郎特派大使訪コ ヴァルガス国会議長訪日	大統領選挙 アリアス大統領就任
		モンヘ国民解放大統領候補訪日 小坂兼徳院議員訪コ コルデロ大統領候補大臣訪日 カラソ大統領訪日					モンヘ前大統領訪日 モレーラ大臣訪日		エチエベリア文化大臣訪日
					モンヘ前大統領訪日	モンヘ前大統領永久的非武装中立宣言 コスタ・リカ、ニカラグア両国国境監視防止委員会設置		ニカラグア・オルテガ大統領器罪と釈明	
							ラスクルシータス事件 両国国境監視委員会設立合意		
									ニカラグア、コスタ・リカを国際司法裁判所へ提訴 ニカラグア提訴を取下げ
									アリアス・プラン提示 アリアス大統領ノーベル平和賞受賞

● コスタ・リカにおける
主な出来事

● 日本との関係

● 主要援助国との関係

図12

コスタ・リカへのODA
(単位: 百万米ドル)

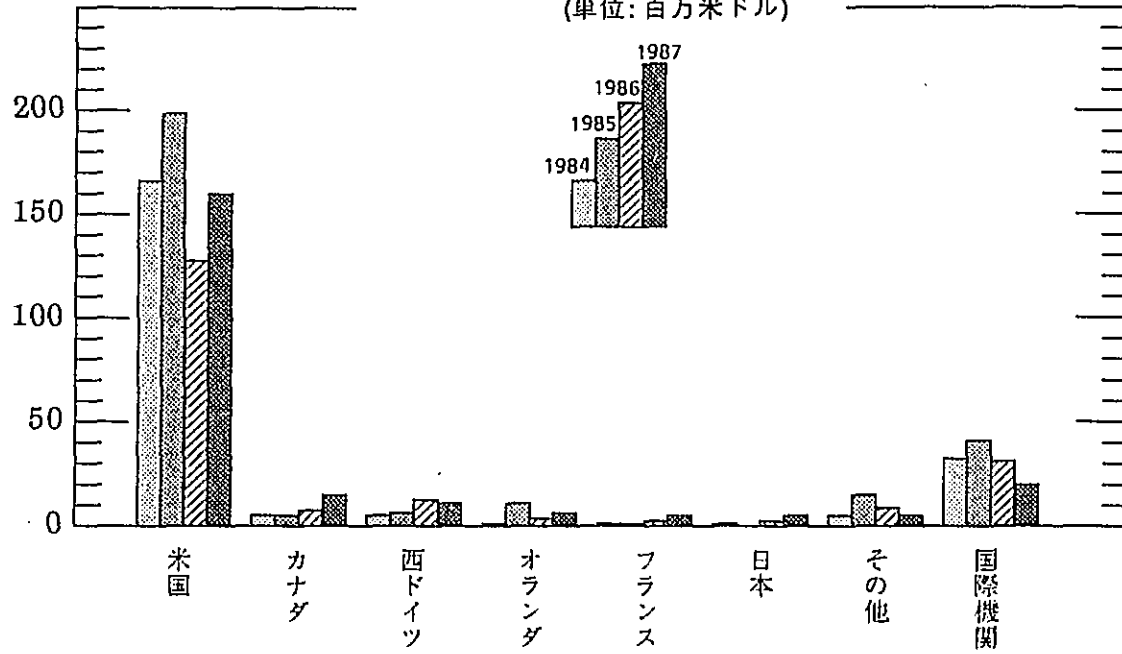
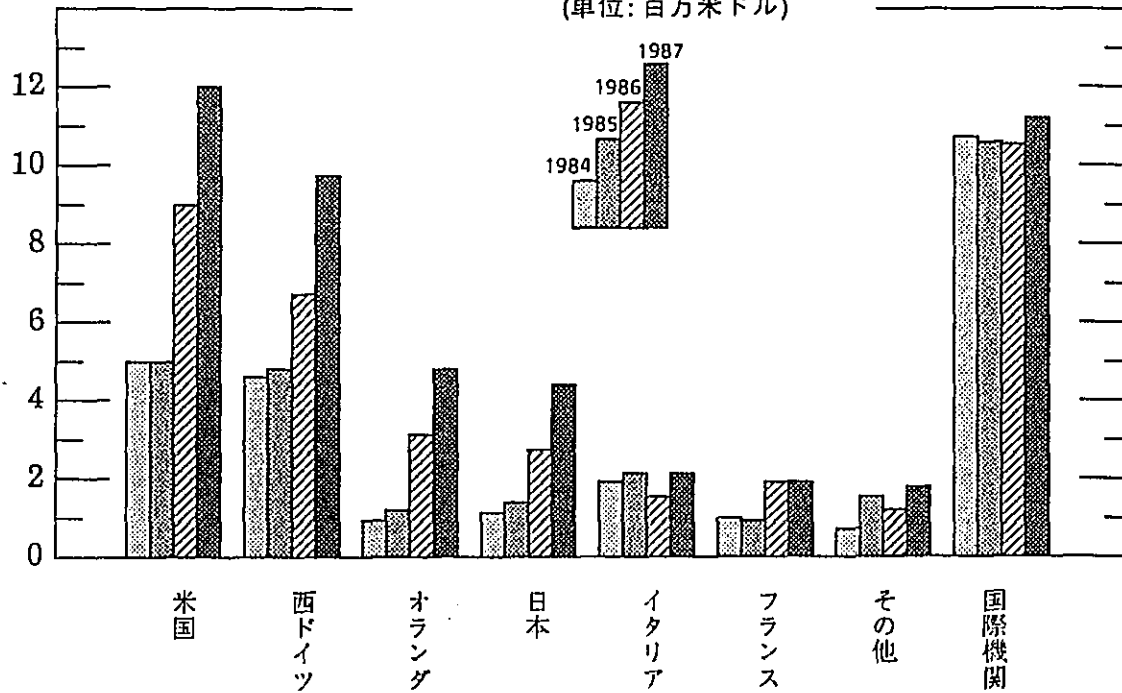


図13

コスタ・リカへの技術協力
(単位: 百万米ドル)



(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1989)

図14 コスタ・リカへの無償資金協力
(単位:百万米ドル)

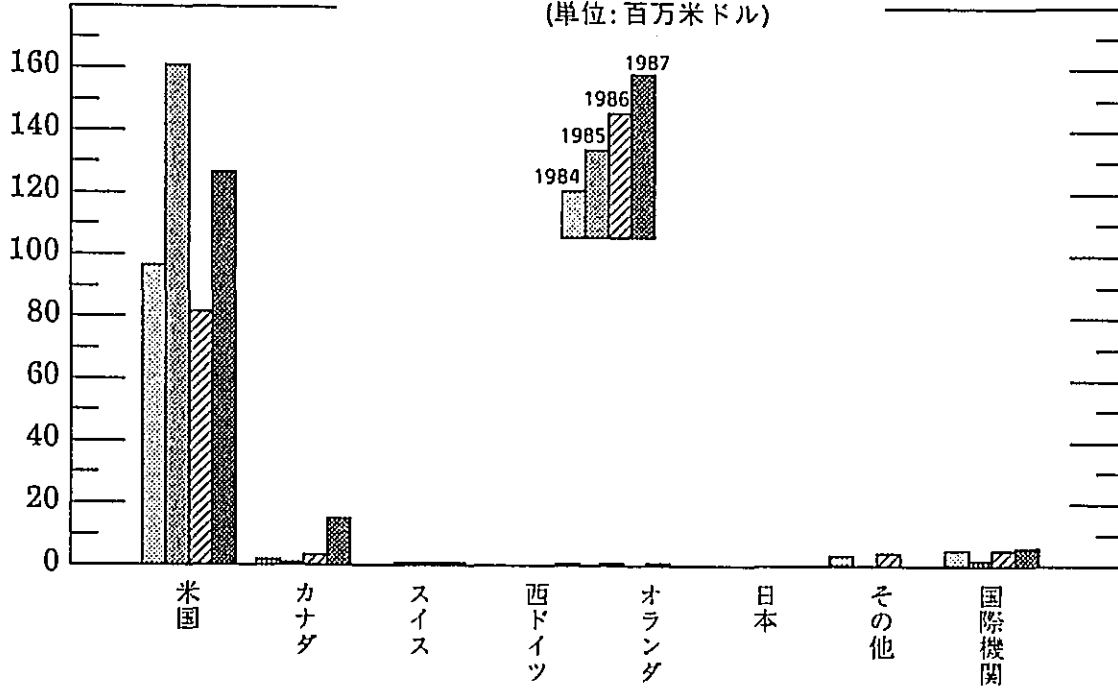
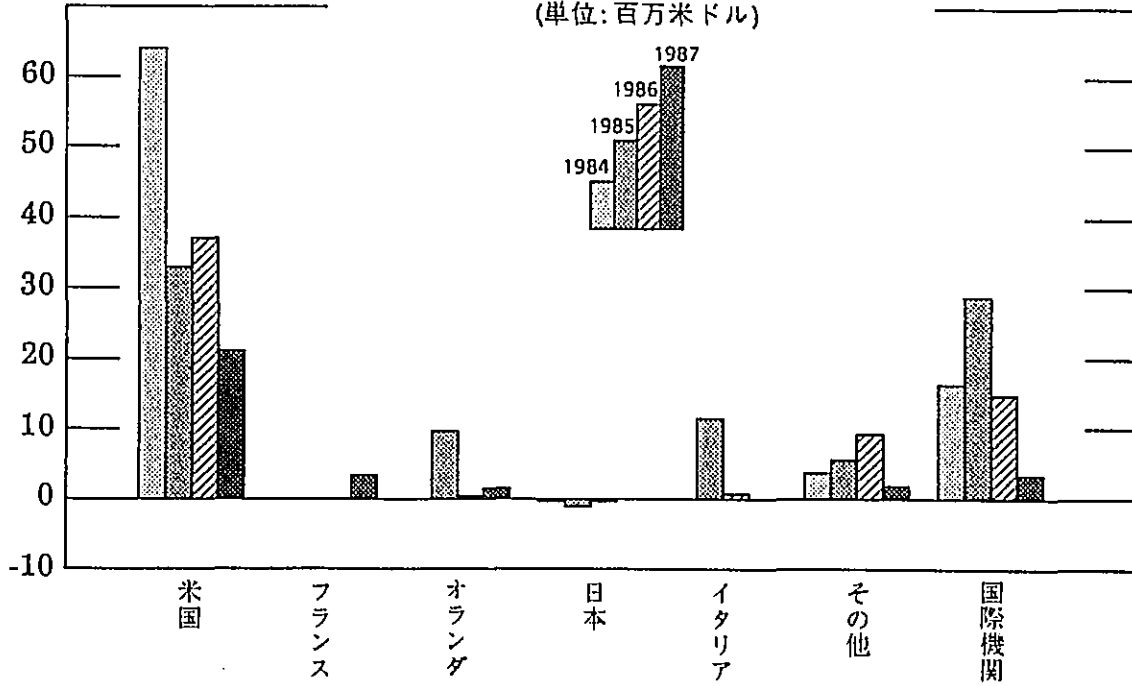


図15 コスタ・リカへの有償資金協力(NET)
(単位:百万米ドル)



(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1989)

3 主要援助国・国際機関による援助の特徴と実績

3-1 主要援助国・国際機関別援助の特徴

— ODA
 - - - OOF
 グラントエレメント

【米国】

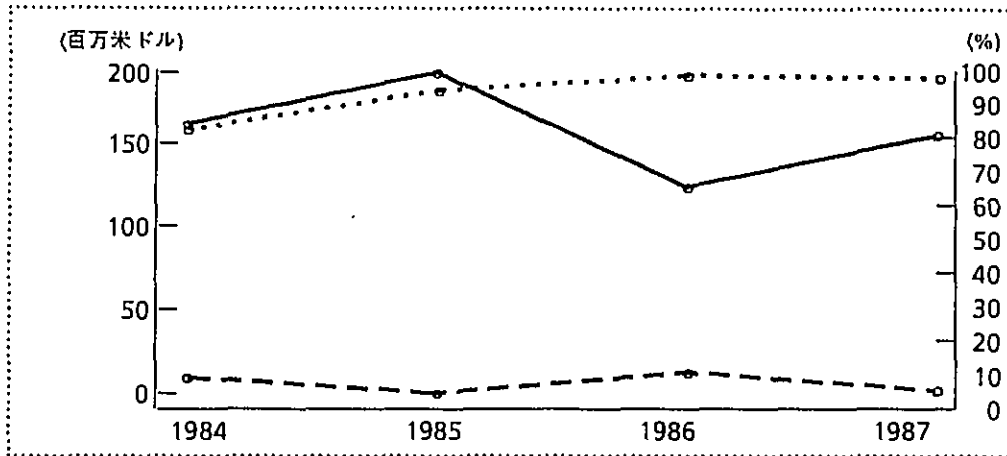


図16 米国の対コスタ・リカODA、OOFおよびグラントエレメント
 (出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1989)

無償、有償の資金協力を中心に米国が圧倒的シェアを保っている。協力分野は農業、教育、公共・公益等多岐にわたっている。

【西ドイツ】

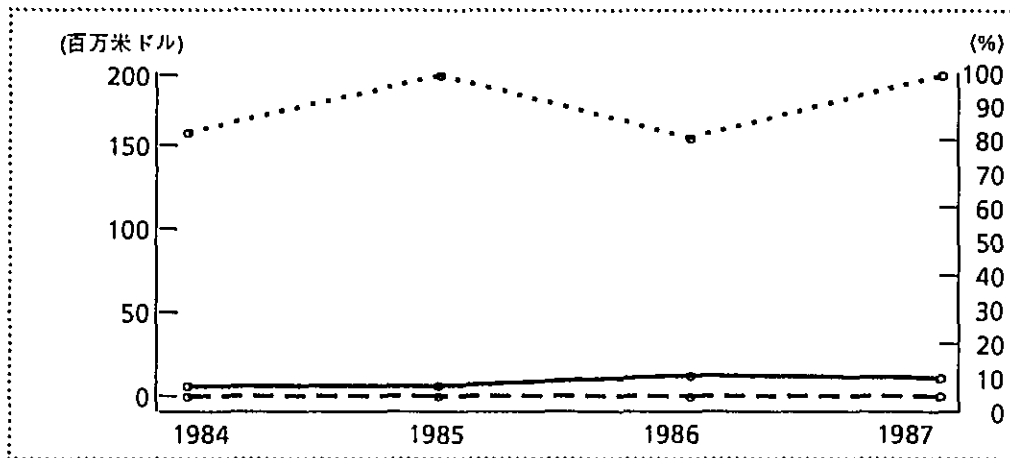


図17 西ドイツの対コスタ・リカODA、OOFおよびグラントエレメント
 (出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1989)

西ドイツは技術協力を主体に援助を行っており、開発一般と天然資源に関する案件が多い。

【カナダ】

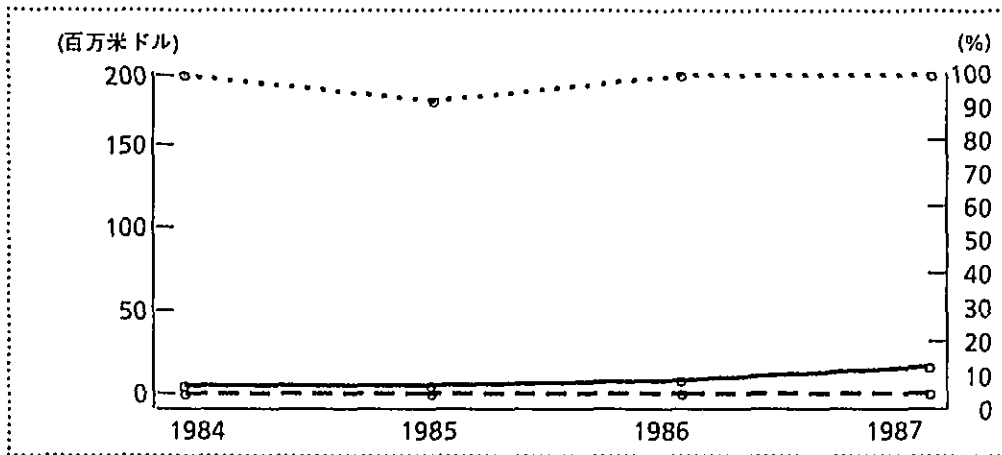


図18 カナダの対コスタ・リカODA、OOFおよびグラントエレメント
(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1989)

カナダの援助は資金協力が中心で、1987年には無償資金協力が大幅に増加したこともありグラントエレメントは100%である。天然資源関連の分野に重点がおかれている。

【I.D.B.】

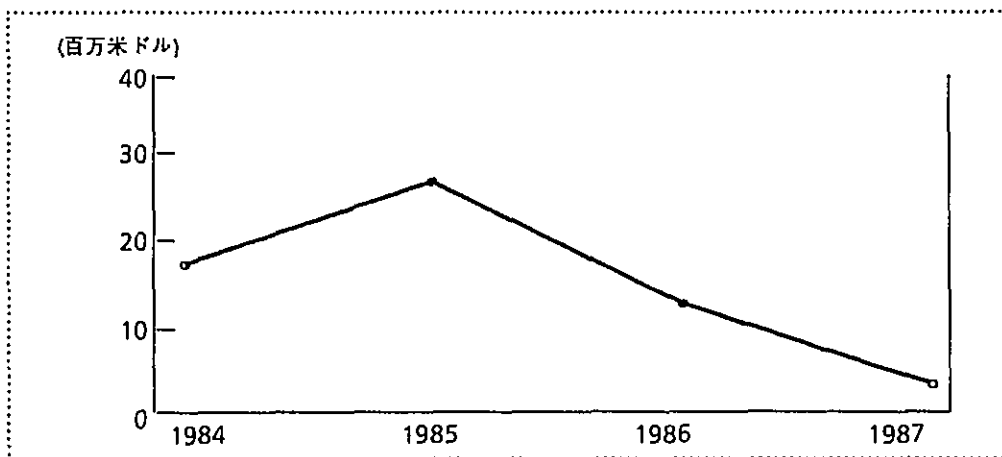


図19 I.D.B.の対コスタ・リカODA
(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1989)

国際機関の中で1986年までは40%以上のシェアを持っていたが、近年シェアも金額も減少傾向にある。天然資源、農業、教育等の分野に協力案件がある。

3-2 主要援助国・国際機関別援助の実績

表3 米国の主要プロジェクト

プロジェクト名・概要	サイト	期間	供与金額 (千米ドル)	備考
515-0231 Proyecto de Recuperación y Estabilización Económica IV - 経済の復興と確立支援	—	1987	119,750	【無償資金協力】
515-0242 Programa de Becas para la Paz en Centroamérica - 中米平和のための奨学金	—	1985~ 1993	28,562	【技術協力】
Proyecto de Reactivación Agrícola e Industrial - 農業の再活性化支援	—	1987	19,650	【ローン】 10年据置き 25年返済 利率 2%(5年間) 3%(5年間) 5%(15年間)
515-0190,515-0190A Políticas, Planificación y Mejoras Administrativas - 開発政策、計画立案能力の強化	—	1983~ 1990	8,900	【技術協力】
515-0212 Proyecto de Capacitación para el Sector Privado - 民間教育部門の機能強化	—	1985~ 1991	5,000	【技術協力】
515-0232 Agencias Privadas que Colaboran en Forma Conjunta - 社会福祉組織への支援	—	1986~ 1991	4,900	【技術協力】
515-0237 Proyecto de Asistencia a las Exportaciones Agrícolas no Tradicionales - 近代的農産品の輸出振興	—	1987~ 1991	3,500	【技術協力】
515-0238 Desarrollo de Servicios Médicos de Emergencia - 救急医療にかかわる人材の育成	—	1987~ 1990	600	【技術協力】
515-0223 Proyecto de Reactivación Agrícola e Industrial - 農業の再活性化支援	—	1986~ 1989	350	【技術協力】

(出典: COOPERACION PARA EL DESARROLLO 1988 UNDP)

表4 西ドイツの主要プロジェクト

プロジェクト名・概要	サイト	期間	供与金額 (千米ドル)	備考
8020547-Sanidad Vegetal - 植物の防疫	—	1980~ 1990	6,285	【技術協力】 機材供与
Cooperativismo - 生活協同組合の組織	—	—	2,722	【無償資金協力】
Desarrollo Agroforestal Acosta/Puriscal - 森林資源の開発	—	1984~ 1990	1,995	【技術協力】
8220113-Inseminación Artificial - 人工受精	—	1982~ 1988	1,977	【技術協力】
Mantenimiento Vial - 食糧生産	—	1987	1,204	【無償資金協力】
Capacitación y Misiones de Cooperación Técnica - 開発計画策定の支援	—	1984~ 1990	843	【技術協力】 専門家派遣
Misiones de Cooperación Técnica - 開発計画策定の支援	—	1987	620	【技術協力】 専門家派遣
Capacitación - ドイツへの留学奨学金	—	1987	150	【技術協力】
Capacitación - 開発計画策定のセミナー	—	1987	125	【技術協力】

(出典: COOPERACION PARA EL DESARROLLO 1988 UNDP)

表5 カナダの主要プロジェクト

プロジェクト名・概要	サイト	期間	供与金額 (千米ドル)	備考
Programa de Capacitación －農牧業分野への支援	－	1987～ 1990	2,434	【技術協力】
3-P-85-001600 Sistemas Silvipastorales －熱帯農業開発への支援	－	1985～ 1989	613	【技術協力】
3-P-85-018600 Eritrina II Fase －樹木栽培技術の開発	－	1986～ 1990	453	【技術協力】
3-P-85-001500 Sistemas de Cultivos de Tubérculos y Plátanos －球根、プラタナスなどの栽培	－	1985～ 1989	352	【技術協力】
3-P-87-002600-Investigación de Cultivos －コスタ・リカ大学農業研究支援	－	1987～ 1991	337	【技術協力】
3-p-86-001800-Tecnología para Bombas de Agua Manuales －手動給水ポンプの技術移転	－	1986～ 1989	313	【技術協力】
3-P-85-025601 Sistemas de Producción Animal －動物資源開発の調査手法の開発	－	1986～ 1990	254	【技術協力】
3-P-84-100601 Roya del Cafeto －コスタ・リカ大学生物化学研究支援	－	1984～ 1988	217	【技術協力】
3-P-83-103202 Programa de Investigación para el Cultivo de Tejidos del Pejivaye －コスタ・リカ大学への研究協力	－	1984～ 1988	203	【技術協力】
3-P-86-010500 Mutación Clonal de plátanos y Bananos －プラタナスとバナナの変異株の 研究	－	1987～ 1990	176	【技術協力】

(出典: COOPERACION PARA EL DESARROLLO 1988 UNDP)

表6 IDBの主要プロジェクト

プロジェクト名・概要	サイト	期間	供与金額 (千米ドル)	備考
Proyecto Geotérmico Miravalles I (Préstamo 200/IC-CR) －地熱開発	Miravalles	1987	74,000	【ローン】
Proyecto Agroindustrial de Coto Sur (Préstamo 196/IC-CR) －南部農園の農産業化	－	1987	31,000	【ローン】
Programa de Desarrollo Ganadero Sanidad Animal(Préstamo439/OC- CR) －家畜動物の保健衛生開発	－	1987	19,500	【ローン】
ATN/SF-2972-CR Reforzamiento institucional de la Dirección Forestal －林業分野への支援	－	1987～ 1990	710	【技術協力】
Financiamiento Centro Agrícola Cantonal de Tarrazú (SP/TF-87-06- CR) －農地開発への支援	－	1987	500	【ローン】
ATN/SF-3014-CR Reforzamiento institucional del CONICIT －科学技術庁の組織強化	－	1987～ 1988	202	【技術協力】
ATN/SF-2972-CR Reforzamiento institucional División Políticas Económicas de MIDEPLAN －経済政策計画省の組織強化	－	1987～ 1988	195	【技術協力】
ATN/SF-2850-CR Asistencia Técnica al Centro Agrícola Cantonal de Tarrazú －農地開発への支援	－	1987	90	【技術協力】
Misión de Coopeación Técnica de Corta Duración －教育分野への支援	－	1987	27	【技術協力】 機材供与
ATN/SF-2894-CR Educación Agropecuaria a Distancia －遠隔地農業に関する教育	－	1987	20	【技術協力】

(出典: COOPERACION PARA EL DESARROLLO 1988 UNDP)

4 わが国の経済・技術協力実施状況

4-1 わが国援助の特色

(1)ODA総論

我が国の対コスタ・リカ二国間ODAは、1978年約1,900万ドル、79年約1,000万ドルと大きく、我が国は第1位の二国間ODA供与国であったが、80年代初めのコスタ・リカ経済の低迷、債務返済繰延べ等のために近年は供与額が減少している。1988年度までの我が国援助の累計(交換公文ベース)をみると、コスタ・リカは中南米諸国中で第11位となっている。

(2)無償資金協力

無償資金協力については、1983年度に初めて文化無償として放送用機材を供与したほか、1985~88年度にも文化無償を各1件ずつ供与しており、1988年度までに計7件、累計3,545億円の協力実績がある。なお、1988年度には難民救済のための緊急援助を実施した。

(3)技術協力

コスタ・リカに対する技術協力(JICAベース)は、1988年までの累計で、研修員受入323人、専門家派遣95人、青年海外協力隊145人、開発調査12件等となっており、運輸・交通、通信・放送などの公共・公益事業、鉱工業・エネルギー、保健・医療などの分野における協力が盛んである。1981年度から対中米・カリブ技術協力強化の観点から電子顕微鏡分野での第三国研修を実施しているほか、1986年度からは農林業分野での第三国研修も実施している。

(4)有償資金協力

有償資金協力では、1973年度および75年度に「カルデラ港建設」に対し合計で約68億円の円借款を供与して以来、運輸・交通、エネルギー分野に対して協力を行っており、1988年度までに債務繰延べも含めて計5件、総額約237億円の協力を行った。なお、1985年には債務繰延べ期間中ではあったが、「ミラバージェス地熱発電所」に対する円借款135億円を供与した。また、1989年7月には「構造調整計画II」に対し世銀との協調融資を行うこととし交換公文が締結された(供与額は124.68億円)。これは資金還流措置の一環として行われたものである。

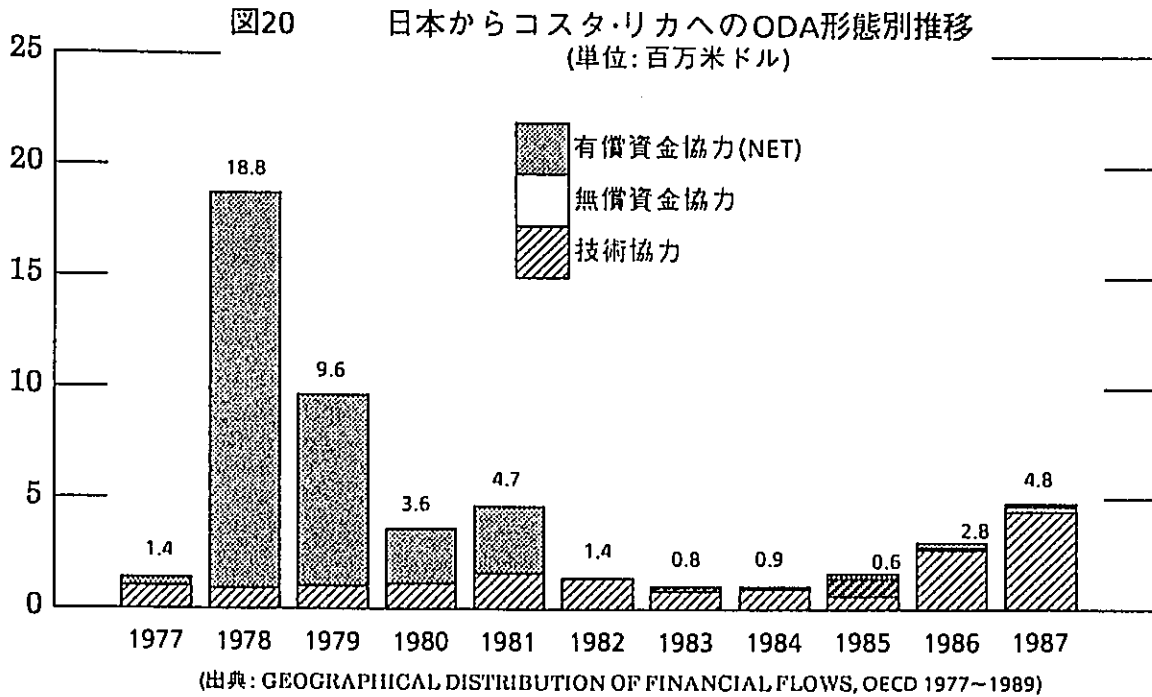
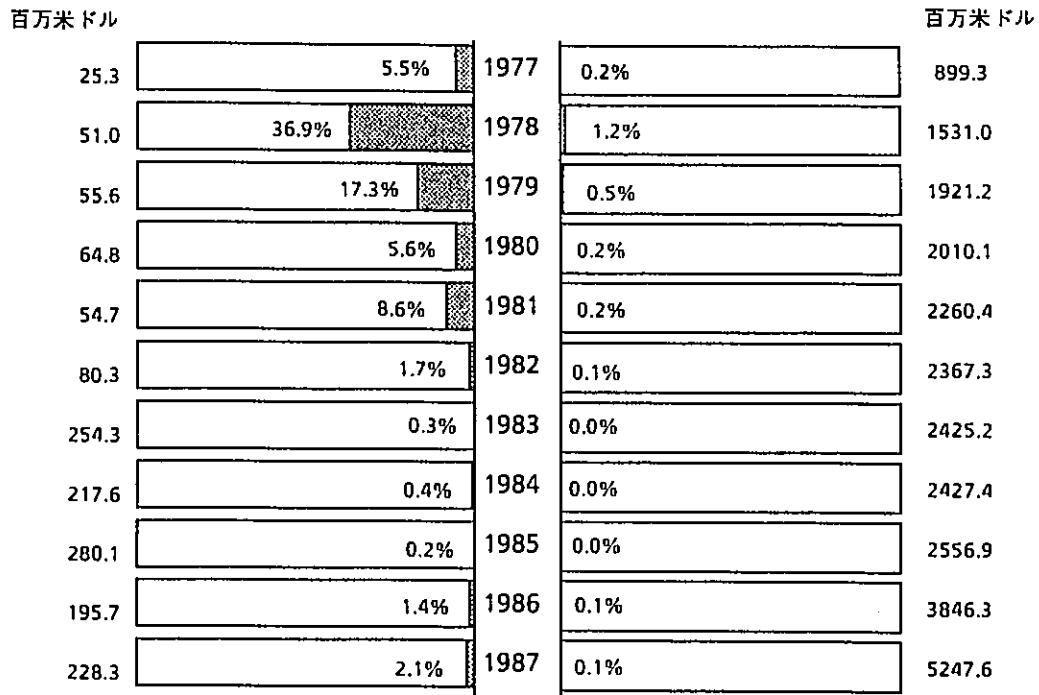


図21 ODAコスタ・リカのシェア/日本のシェア



コスタ・リカから見た日本のODAシェア

日本から見たコスタ・リカへのODAシェア

(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1977~1989)

表7 我が国のコス・タリカに対する経済技術協力実績

		～1986年度 (累計)	1987年度	1988年度
政府 開 発 援 助 (ODA)	経 費	2,871百万円	774百万円	626百万円
	技術協力			
	研修員受入	250人	29人	44人
	専門家派遣	83人	5人	7人
	単独機材供与	163百万円	53百万円	42百万円
	青年海外協力隊	120人	12人	13人
	開発調査	5件	4件	4件
	プロジェクト 方式技術協力	1件	0件	0件
	無償資金協力	135百万円 (3件)	29百万円 (1件)	1,905百万円 (3件)
	有償資金協力	23,714百万円 (4件)	0百万円 (0件)	0百万円 (0件)
対外直接投資(非ODA)	48百万米ドル (63件)	－百万米ドル (件)	－百万米ドル (件)	

(出典：国際協力事業団資料および財政統計金融月報、大蔵省)

注1 無償資金協力は予算年度ベース、有償資金協力は交換公文ベース、対外直接投資は届出ベースである。

注2 非ODAの－は財政統計金融月報に記載なし(1951～88年累計1億ドル未満)

4-2 分野別経済・技術協力実施状況

- 凡例
- 1) 調査の対象となる案件は、昭和54年度(1979年)から昭和63年度(1988年)の間に実施された、あるいは計画されている主要プロジェクト案件とした。(一部1989年度案件については、88年度の欄に*印で表記した。)
 - 2) 金額は、各年度ごとの実績額を100万円単位に示した。無償資金協力についてはE/Nベース、有償資金協力についてはL/Aベースの金額を示す。
 - 3) 無償資金協力についてE/N、有償資金協力についてL/A締結の日付を示した。災害無償については閣議発言の日付を示した。
 - 4) 単年度の金額実績が100万円未満の案件については記載しなかった。

開調	開発調査 -金額 123	一般無償	一般無償援助 -金額 123 -E/N日付 88.1.1
海開	海外開発計画調査	水産無償	水産関係援助
資開	資源開発基礎調査	文化無償	文化無償援助
開協	開発協力基礎調査等	食増無償	食糧増産援助
		災害無償	災害関係援助
		食糧無償	KR食糧援助
		債務無償	債務救済無償援助
		B/D	基本設計調査
		有償	有償資金協力(政府直接借款) -金額 123 -L/A日付 88.1.1
		E/N	交換公文
		L/A	貸付契約
[プロジェクト方式技術協力]			
事前	事前調査 -機材金額 123 -派遣専門家数 (3)		
実協	実施協議		
計打	計画打合		
巡指	巡回指導		
実設	実施設計		
エバ	エバリュエーション		
機修	機材修理		
アケ	アフターケア		

2- 公 共 ・ 公 益 事 業

	プロジェクト名 (サイト)	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88
2-1	カルデラ港整備計画 (カルデラ) -日本の円借款により建設されたカルデラ港の漂砂堆積問題を解決し、港湾航路の維持・管理を図るためのしゅんせつ関連施設等整備計画を策定するとともに、コンテナ関連施設の運営計画に関する調査。	開調	開調	開調			開調	開調	開調		
		10	42	92			5	125	32		
2-2	サン・ホセ首都圏都市基本図 作製調査 (サン・ホセ) -同国サン・ホセ首都圏の内1600kmを対象とした縮尺一万分の1の都市基本図及び土地利用図の作成を行う。										開調

3- 農 林 水 産

	プロジェクト名 (サイト)	-79	80	81	82	83	84	85	86	87	88
3-1	花き園芸 開発協力調査 (サンホセ州, エレディア州, カルタゴ州) -花き(カーネーション等)観葉植物等を中心とする花き園芸開発協力の民間事業としての調査、及び開発事業について、その試験的事業の基本計画の策定。										
3-2	投融资審査等調査 (サンホセ州サンタアナ市) -サンホセ州サンタアナ市におけるクラベル等花き栽培事業の融資後調査。	開協 7									
3-3	農業投融资審査等調査 (サン・ホセ州サンタアナ市) -コスタリカ花き栽培試験事業に関する融資後調査。						開協 2				
3-4	農業開発協力(基礎一次調査) (カルタゴ他5ヶ所) -ゴマ、果樹等の生産量の増大を図るため、基礎的調査を実施。生産状況、栽培環境等を調査。							開協 8			
3-5	ゴマ栽培開発協力 (カルタゴ、エスバルサ) -本邦企業によるゴマの開発輸入のための、温帯品種の導入と栽培技術の確立を目的に調査、開発協力事業の可能性を明らかにし、試験的事業の開発計画案を作成。							開協 8		開協	
3-6	太平洋沿岸水産資源調査 (広域) -有底魚資源の分布状況および資源量の推定調査。海上調査および漁業開発調査計画策定のための陸上調査等を実施。							開調 5	開調 51	開調 236	開調
3-7	リモン地区農業総合開発計画 (リモン地区) -農村総合開発計画のM/Pにより策定されたモデル地区においてF/Sを実施。								開調 30	開調 207	開調

3- 農 林 水 産

	プロジェクト名 (サイト)	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88
3-8	カカオ栽培開発協力事業 (グアナカステ県 リモナール村近郊) -カカオ栽培技術開発事業の可能性を検討。									開協 6	開協

4- 鉱 工 業 ・ エ ネ ル ギ ー

	プロジェクト名 (サイト)	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88
4-1	バハ・タラマンカ石炭開発 計画 (バハ・タラマンカ) -バハ・タラマンカ地区で発見された高品位石炭層の埋蔵 の確認、採掘後の利用(輸出、液化、国内消費等)に関する 調査。		海開 6	海開 41	海開 38						
4-2	石炭開発計画 (広域) -国内6地域において有望地選定の組織的調査を実施する ものである。①現地調査②調査結果の資料の整理検討等 を実施。					海開 4					
4-3	ミラバジェス地熱発電所 建設事業 (ミラバジェス火山) -首都サンホセの北西220kmにあるミラバジェス火山のふ もとに55MWx1基の地熱発電所を建設。 条件 25(7)、4.75、LDCアンタイド							有償 13,547 85. 12.12			
4-4	鉱工業プロジェクト選定 確認調査 (広域) -鉱工業関係の開発調査を効率的に実行するため、実施可 能なプロジェクトの選定。									海開 4	
4-5	ピリス水力発電開発計画 (ピリス川) -太平洋に注ぐピリス川中流部に建設するダム及び発電所 のFISを実施。										海開

6- 人 的 資 源

	プロジェクト名 (サイト)	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88
6-1	文化・青年・スポーツ省映画 製作センターに対する野外 放送取材車及び取材機材 - 野外放送取材車・テレビカメラ・ビデオ機材の供与。 (広域)						文化 無償 43 84. 5.28				
6-2	コスタリカ大学(天然物研究セ ンター)に対する植物研究機材 - 多核観測システムの供与。 (サン・ホセ)						文化 無償 50 85. 5.6				
6-3	文部省に対する教育機材 - パーソナル・コンピューター、プリンターの供与。 (広域)									文化 無償 42 87. 4.7	
6-4	メリコ・サラサル劇場 に対する音響・照明機材 - 音響・照明機材の供与。 (サン・ホセ)									文化 無償 77 88. 11.3	
6-5	コスタリカ大学に対する 気象衛星写真受信装置 - 気象衛星写真受信装置の供与。 (サン・ホセ)									文化 無償 29 88. 8.18	

7- 保 健 ・ 医 療

	プロジェクト名 (サイト)	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88
7-1	コスタ・リカ大学医学部(電子 顕微鏡の利用による基礎医学 分野整備拡充) ('73.11.1~'81.3.31) (サン・ホセ) - 基礎医学研究に必要な機材等を供与し、操作・研究技術 を移転するというもの。昭和48年度より協力開始。	99 (10)									

9- そ の 他

	プロジェクト名 (サイト)	-79	80	81	82	83	84	85	86	87	88
9-1	経済技術協力調査 (広域) -①日本の経済、技術協力システムの説明、②優良案件の発掘、③経済、技術協力の要望聴取、④今後の経済協力のための基礎資料の収集。	開調 1									
9-2	投融资審査等調査 (広域) -投融资制度説明および案件発掘調査。					開協 2					
9-3	債務救済 (広域) -リスケジュール 条件 4.75、8(3)、6(2) →(輸銀) 4.75、8(3) →(OECF)					有償 1,472 83. 6.23		有償 1,895 85. 6.18			
9-4	中米カリブ経済技術協力調査 (広域) (プロジェクト選定確認) -経済協力の効果的実施を促進するため、各国政府機関との対話を通うじて、優良案件の発掘を行うことを目的とした調査を実施。									開調 1	
9-5	災害援助 (広域) -飢餓救済。難民に対する乾パン援助輸送費の負担。										災害無償 17 88. 9.15
9-6	災害援助 (広域) -難民支援。中南米難民衛生環境改善のため、コスタリカ赤十字へ緊急援助90万ドル。										災害無償 132 89. 3.28
9-7	第二次構造調整借款(SALII) (広域) -経済構造調整プログラム(輸出貿易部門公共部門及び金融部門対象)を支援し国際収支改善に寄与。										* 有償 12,468 89. 7.28

対コスタ・リカ経済・技術協力案件配置図

(1979年度～1988年度)

広域

- 開調 3-6.太平洋沿岸水産資源調査
- 開調 4-2.石炭開発計画
- 開調 4-4.鉱工業プロジェクト選定確認調査
- 無償 6-1.文化・青年・スポーツ省映画製作センターに対する
野外放送取材車及び取材機材
- 無償 6-3.文部省に対する教育機材
- 開調 9-1.経済技術協力調査
- 開協 9-2.投融資審査等調査

広域

- 有償 9-3.債務救済
- 開調 9-4.中米カリブ経済技術協力調査
(プロジェクト選定確認)
- 無償 9-5.災害援助
- 無償 9-6.災害援助
- 有償 9-7.第二次構造調整借款(SALII)

エレディア州

- 開協 3-1.花卉園芸開発協力調査

ミラバジェス火山

- 有償 4-3.ミラバジェス地熱発電所建設事業

リモン

- 開調 3-7.リモン地区農業総合開発計画

カルタゴ州

- 開協 3-1.花卉園芸開発協力調査
- 開協 3-4.農業開発協力(基礎一次調査)
- 開協 3-5.ゴマ栽培開発協力

バハ・タラマンカ

- 開調 4-1.石炭開発計画

グアナカステ県

- 開調 3-8.カカオ栽培開発協力事業

エスバルサ

- 開協 3-5.ゴマ栽培開発協力

カルデラ

- 開調 2-1.カルデラ港整備計画

ピリス川

- 開調 4-5.ピリス水力発電開発計画

サン・ホセ

- 開調 2-2.サン・ホセ首都圏都市基本図作成調査
- 開協 3-1.花卉園芸開発協力調査
- 開協 3-2.投融資審査等調査
- 開協 3-3.農業投融資審査等調査
- 無償 6-2.コスタ・リカ大学(天然物研究センター)に対する植物研究機材
- 無償 6-4.メニコ・サラサル劇場に対する音響・照明機材
- 無償 6-5.コスタ・リカ大学に対する気象衛星写真受信装置
- ブ技 7-1.コスタ・リカ大学医学部(電子顕微鏡の利用による基礎医学分野整備拡充)

参考表-1 1984年対コスタ・リカ政府開発援助(ODA)及びその他の政府資金の流れ(OOF)実績総括表

単位 金額:百万ドル、G.E(グラント・エレメント)

援助国及び 援助機関	O D A (N E T)					O O F (NET)	ODA + OOF (NET)	総資金含民間 (NET)
	無償資金 協力	技術協力	有償資金 協力(NET)	合計	G.E			
オーストラリア	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	- 0.1
オーストリア	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	- 0.8
ベルギー	0.3	0.0	0.0	0.3	—	0.0	0.3	5.2
カナダ	1.7	0.0	3.6	5.3	100.0	0.0	5.3	5.3
デンマーク	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	- 0.3
フィンランド	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
フランス	0.1	1.0	0.0	1.1	64.1	0.0	1.1	0.7
西ドイツ	0.0	4.6	0.8	5.4	83.3	0.0	5.4	4.2
アイルランド	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
イタリア	2.3	1.9	0.0	4.2	60.2	0.0	4.2	0.6
日 本	0.0	1.1	- 0.2	0.9	100.0	0.0	0.9	33.1
オランダ	0.9	0.9	0.0	1.8	66.2	0.0	1.8	- 0.7
ニュージーランド	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
ノルウェー	0.6	0.0	0.0	0.6	100.0	0.0	0.6	0.6
スウェーデン	0.0	0.1	0.0	0.1	100.0	- 1.0	- 0.9	- 2.2
ス イ ス	0.3	0.2	0.0	0.5	100.0	0.0	0.5	0.3
英 国	0.0	0.4	- 0.6	- 0.2	27.8	1.8	1.6	0.4
米 国	97.0	5.0	64.0	166.0	82.0	9.0	175.0	175.0
二国間(小計)	103.1	15.2	67.5	185.7	70.8	9.9	195.6	221.2
国際機関	4.9	10.7	16.3	31.9	100.0	38.1	70.0	70.0
ARAB諸国	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
合 計	108.0	25.9	83.8	217.6	80.7	48.0	265.6	291.2

注) 四捨五入の関係で内訳の計が、合計欄の数値と一致しないことがある。
出典: Geographical Distribution of Financial Flows to Developing Countries 1989, OECD

参考表-2 1985年対コスタ・リカ政府開発援助(ODA)及びその他の政府資金の流れ(OOF)実績総括表

単位 金額:百万ドル、G.E(グラント・エレメント)

援助国及び 援助機関	O D A (N E T)					O O F (NET)	ODA + OOF (NET)	総資金含民間 (NET)
	無償資金 協力	技術協力	有償資金 協力(NET)	合計	G.E			
オーストラリア	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
オーストリア	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	- 0.8
ベルギー	0.1	0.0	0.0	0.1	—	0.0	0.1	0.5
カナダ	1.1	0.7	3.5	5.3	92.6	- 0.6	4.7	4.7
デンマーク	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	- 0.3
フィンランド	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
フランス	0.1	0.9	0.0	1.0	100.0	0.0	1.0	1.0
西ドイツ	0.1	4.8	2.0	6.8	100.0	0.1	6.9	6.6
アイルランド	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
イタリア	0.0	2.1	11.4	13.5	61.1	0.0	13.5	10.2
日 本	0.2	1.4	- 1.0	0.6	40.4	0.0	0.6	8.5
オランダ	0.2	1.2	9.5	10.9	100.0	0.2	11.1	11.7
ニュージーランド	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
ノルウェー	0.2	0.0	0.0	0.2	100.0	0.0	0.2	0.2
スウェーデン	0.0	0.3	0.0	0.3	100.0	- 1.0	- 0.7	- 0.7
ス イ ス	0.7	0.1	0.0	0.8	100.0	0.0	0.8	0.8
英 国	0.0	0.4	0.0	0.4	100.0	15.8	16.2	15.8
米 国	161.0	5.0	33.0	199.0	84.8	0.0	199.0	199.0
二国間(小計)	163.7	16.8	58.3	238.9	82.1	14.5	253.4	257.1
国際機関	1.8	10.6	28.8	41.2	82.6	98.9	140.1	140.1
ARAB諸国	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
合 計	165.5	27.5	87.1	280.1	82.1	113.4	393.4	397.1

注) 四捨五入の関係で内訳の計が、合計欄の数値と一致しないことがある。
出典: Geographical Distribution of Financial Flows to Developing Countries 1989, OECD

参考表-3 1986年対コスタ・リカ政府開発援助(ODA)及びその他の政府資金の流れ(OOF)実績総括表

単位 金額:百万ドル、G.E(グラント・エレメント)

援助国及び 援助機関	O D A (N E T)					O O F (NET)	ODA + OOF (NET)	総資金含民間 (NET)
	無償資金 協力	技術協力	有償資金 協力(NET)	合計	G.E			
オーストラリア	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
オーストリア	0.1	0.0	0.0	0.1	100.0	0.0	0.1	- 0.4
ベルギー	0.1	0.0	0.0	0.1	100.0	0.0	0.1	6.2
カナダ	3.7	0.0	3.7	7.4	100.0	- 0.8	6.6	6.6
デンマーク	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	- 0.4
フィンランド	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
フランス	0.0	1.9	0.0	1.9	100.0	6.1	8.0	26.7
西ドイツ	0.3	6.7	5.5	12.5	81.5	0.4	12.9	13.0
アイルランド	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
イタリア	3.3	1.5	0.6	5.4	65.7	0.0	5.4	5.0
日本	0.3	2.7	- 0.2	2.8	100.0	0.0	2.8	19.9
オランダ	0.5	3.1	0.4	3.9	93.8	0.1	4.1	11.4
ニュージーランド	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
ノルウェー	0.1	0.2	0.0	0.3	100.0	0.0	0.3	- 7.1
スウェーデン	0.6	0.0	0.0	0.6	100.0	- 1.3	- 0.7	0.1
スイス	0.9	0.2	0.0	1.1	100.0	0.0	1.1	1.1
英国	0.0	0.8	0.0	0.8	100.0	13.4	14.1	14.1
米国	82.0	9.0	37.0	128.0	99.0	12.0	140.0	140.0
二国間(小計)	91.8	26.0	47.0	164.8	93.3	29.9	194.8	236.2
国際機関	5.4	10.5	14.9	30.8	100.0	64.6	95.5	95.5
ARAB諸国	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
合計	97.2	36.5	61.9	195.7	93.8	94.6	290.2	331.7

注) 四捨五入の関係で内訳の計が、合計欄の数値と一致しないことがある。
出典: Geographical Distribution of Financial Flows to Developing Countries 1989, OECD

参考表-4 1987年対コスタ・リカ政府開発援助(ODA)及びその他の政府資金の流れ(OOF)実績総括表

単位 金額:百万ドル、G.E(グラント・エレメント)

援助国及び 援助機関	O D A (N E T)					O O F (NET)	ODA + OOF (NET)	総資金含民間 (NET)
	無償資金 協力	技術協力	有償資金 協力(NET)	合計	G.E			
オーストラリア	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
オーストリア	0.1	0.0	0.0	0.1	100.0	0.0	0.1	- 0.5
ベルギー	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	2.3
カナダ	14.6	0.0	1.0	15.5	100.0	0.0	15.5	15.5
デンマーク	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
フィンランド	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
フランス	0.0	1.9	3.3	5.1	100.0	0.0	5.1	7.0
西ドイツ	0.5	9.7	0.9	11.1	100.0	0.0	11.1	9.3
アイルランド	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
イタリア	0.0	2.1	0.0	2.1	100.0	0.0	2.1	2.1
日本	0.3	4.4	0.1	4.8	97.6	0.0	4.8	10.1
オランダ	0.4	4.8	1.3	6.5	100.0	0.0	6.5	18.1
ニュージーランド	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
ノルウェー	0.0	0.2	0.0	0.2	100.0	0.0	0.2	0.2
スウェーデン	0.0	0.8	0.0	0.8	100.0	0.0	0.8	1.3
スイス	0.9	0.2	0.0	1.1	100.0	0.0	1.1	1.1
英国	0.0	0.6	0.1	0.7	100.0	3.5	4.2	4.2
米国	127.0	12.0	21.0	160.0	98.3	1.0	161.0	161.0
二国間(小計)	143.7	36.7	27.6	208.1	98.6	4.5	212.6	231.9
国際機関	5.8	11.2	3.2	20.3	100.0	- 9.5	10.8	10.8
ARAB諸国	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
合計	149.6	47.9	30.9	228.3	98.7	- 5.0	223.4	242.6

注) 四捨五入の関係で内訳の計が、合計欄の数値と一致しないことがある。
出典: Geographical Distribution of Financial Flows to Developing Countries 1989, OECD

参考表-5 対コスタ・リカ、国際機関からの資金の流れ実績総括表

単位 金額:百万ドル、全体比:%

国際機関	ODA(NET) 1984		ODA(NET) 1985		ODA(NET) 1986		ODA(NET) 1987	
	金額	全体比	金額	全体比	金額	全体比	金額	全体比
Af. D. F.	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
Af. D. B.	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
As. D. B.	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
Car. D. B.	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
E. E. C.	2.7	(8)	0.9	(2)	4.0	(13)	4.4	(22)
IBRD	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
IDA	- 0.2	(1)	- 0.2	(0)	- 0.2	(1)	- 0.1	(0)
I. D. B.	17.6	(55)	27.5	(67)	13.0	(42)	3.3	(16)
IFAD	0.7	(2)	1.7	(4)	2.4	(8)	1.0	(5)
I. F. C.	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
IMF Trust F.	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
U. N. Agencies	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
UNDP	1.6	(5)	1.6	(4)	1.2	(4)	1.6	(8)
UNTA	0.5	(2)	0.6	(1)	0.7	(2)	1.0	(5)
UNICEF	0.0	(0)	0.1	(0)	0.2	(1)	0.2	(1)
UNRWA	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
WFP	0.5	(2)	0.8	(2)	1.3	(4)	1.4	(7)
UNHCR	7.5	(24)	7.4	(18)	7.3	(24)	6.9	(34)
Other Multilateral	1.1	(3)	1.0	(2)	1.2	(4)	0.8	(4)
Arab Agencies	- 0.1	(0)	- 0.2	(0)	- 0.2	(1)	0.0	(0)
合 計	31.9	(100)	41.2	(100)	30.8	(100)	20.3	(100)

注) 四捨五入の関係で内訳の計が、合計欄の数値と一致しないことがある。
出典: Geographical Distribution of Financial Flows to Developing Countries 1989, OECD

[図表リスト]

- 図1 概要図/3
図2 位置図/4
図3 行政区分図/4
図4 都市化率/4
図5 生産の構造/4
図6 援助主体別ODA推移/8
図7 援助形態別ODA推移/8
図8 援助形態別、主要援助国および国際機関の援助額推移/9
図9 援助形態別ODAのシェア/10
図10 主要援助国・国際機関別ODA推移/11
図11 年表/12
図12 コスタ・リカへのODA/13
図13 コスタ・リカへの技術協力/13
図14 コスタ・リカへの無償資金協力/14
図15 コスタ・リカへの有償資金協力/14
図16 米国の対コスタ・リカODA、OOFおよびグラントエレメント/15
図17 西ドイツの対コスタ・リカODA、OOFおよびグラントエレメント/15
図18 カナダの対コスタ・リカODA、OOFおよびグラントエレメント/16
図19 I.D.B.の対コスタ・リカODA/16
図20 日本からコスタ・リカへのODA形態別推移/22
図21 ODAコスタ・リカのシェア/日本のシェア/22
- 表1 国家開発計画の目標/5
表2 機能別歳出/6
表3 米国の主要プロジェクト/17
表4 西ドイツの主要プロジェクト/18
表5 カナダの主要プロジェクト/19
表6 I.D.B.の主要プロジェクト/20
表7 わが国のコスタ・リカに対する経済技術協力実績/23
- 参考表1 1984年対コスタ・リカ政府開発援助およびその他の政府資金の流れ実績総括表
参考表2 1985年対コスタ・リカ政府開発援助およびその他の政府資金の流れ実績総括表
参考表3 1986年対コスタ・リカ政府開発援助およびその他の政府資金の流れ実績総括表
参考表4 1987年対コスタ・リカ政府開発援助およびその他の政府資金の流れ実績総括表
参考表5 対コスタ・リカ、国際機関からの資金の流れ実績総括表

[参考資料]

各国共通

1. 国際協力事業団年報 1976～1988；国際協力事業団
2. 国際協力事業団事業実績表 昭和56年～62年；国際協力事業団
3. 我が国の政府開発援助 1989；外務省 経済協力局 編
4. 経済協力の現状と問題点 1988；通商産業省
5. Geographical Distribution of Financial Flows to Developing Countries 1978～89；OECD
6. World Development Report 1989；World Bank

国別

- (1) MAPA FISICO-POLITICO COSTARICA; EDICION 1987
- (2) EVOLUCION ECONOMICA Y SOCIAL DE COSTA RICA PRIMER SEMESTRE DE 1988
- (3) COOPERACION PARA EL DESARROLLO COSTA RICA; PNUD INFORME 1987
- (4) CALCULO DE POBLACION DE COSTA RICA AL 30 DE JUNIO DE 1988 他写し15枚
- (5) PLAN NACIONAL DE DESARROLLO 1986-1990

○JICAとUNDP分野区分対照表

JICA分野区分		UNDP分野区分	
1. 計画・行政	- 開発計画	02 – General development issues, policy and planning 03 – Natural resources 07 – International trade and development finance	Development strategic policies and planning Land and water (一部) Development finance and monetary problems
	- 行政	01 – Political affairs 02 – General development issues, policy and planning 08 – Population 14 – Social conditions and equity 15 – Culture	General international law Trusteeship, decolonization and apartheid (一部) General statistics Public administration Population dynamics (一部) Prevention of crime and drug abuse Communication and mass media
2. 公共・公益事業	- 公益事業	03 – Natural resources 10 – Health	Land and water (一部) Environmental health (一部)
	- 運輸・交通	06 – Transport and communication 16 – Science and technology	Policy and planning (一部) Air transport Land transport Water transport and shipping Meteorology
	- 社会基盤	03 – Natural resources 09 – Human settlements	Cartography Settlements planning Housing and infrastructure
	- 通信・放送	06 – Transport and communication 15 – Culture	Policy and planning (一部) Postal services Telecommunication Communication and mass media
3. 農林水産	- 農業	03 – Natural resources 04 – Agriculture, forestry and fisheries	Land and water (一部) Biological resources (一部) Agricultural development support services Crops
	- 畜産	04 – Agriculture, forestry and fisheries	Livestock
	- 林業	03 – Natural resources 04 – Agriculture, forestry and fisheries	Land and water (一部) Biological resources (一部) Forestry
	- 水産	03 – Natural resources 04 – Agriculture, forestry and fisheries 16 – Science and technology	Biological resources (一部) Fisheries Oceanography (一部)

4. 鉱工業・エネルギー	- 鉱業	03 - Natural resources 16 - Science and technology	Land and water (一部) Mineral resources Oceanography
	- 工業	05 - Industry	Industrial development support services Manufacturing industries
	- エネルギー	03 - Natural resources	Biological resources (一部) Energy
5. 商業・観光	- 商業・貿易	05 - Industry 07 - International trade and development finance	Industrial development support services Global trade policies Trade in commodities Trade in manufactures Trade promotion and trade in services Other service industry
	- 観光	05 - Industry	Industrial development support services Tourism and related services
6. 人的資源	- 人的資源	11 - Education	Education policy and planning Education facilities and technology Educational systems Nonformal education
		12 - Employment	Skills development
	- 科学・文化	15 - Culture 16 - Science and technology	Cultural preventions and development Protection of authors and performances Promotion of science Development and transfer of technology Oceanography (一部)
7. 保健・医療	- 保健・医療	08 - Population	Family planning Population dynamics (一部)
		10 - Health	Comprehensive health services Disease prevention and control Environmental health (一部)
8. 社会福祉	- 社会福祉	12 - Employment	Employment promotion and planning Conditions of employment Industrial relations
		13 - Humanitarian aid and relief	Protection of and assistance to refugees and displaced persons Disaster, relief preparedness and prevention Special humanitarian operation
		14 - Social conditions and equity	Human rights Social science Welfare and social security Advancement of woman Disadvantaged groups
9. その他	- その他	01 - Political affairs	Political and security activities Special missions Disarmament Trusteeship, decolonization and apartheid (一部)

◎ コスタ・リカ共和国

JICA

